



「きよくならなければ、
だれも主を見ることはできない」
ヘブル 12:14

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail jhc-honbu@jhc.or.jp

2020年3月14日

全国の牧師先生方へ

日本ホーリネス教団
委員長 島津 吉成
総務局長 佐藤 信人

【第2報】新型コロナウイルスの感染拡大を受けてのお願い

主の聖なる御名をたたえます。

新型コロナウイルスの感染拡大がさらに広がり、収束の見通しが立たない状況が続いています。先生方の教会におかれましても、礼拝を始めとする諸集会の対応に苦慮しておられることと思います。対処方法を間違えますと、教会がクラスター（集団の感染）の発生源となる可能性も十分にありますので、正しい理解のもと、適切な対応を取っていただきますようお願いいたします。

このような大災害や大きな危機に直面したとき、いわゆる<正常性バイアス>というものが働いて、「自分たちは大丈夫」「世間は大騒ぎしすぎだ」という認識のもと、適切な危険回避行動を取ることを遅らせ、結果的に被害を大きくしてしまうことがあります。特に、信仰に生きる私たちは、この<正常性バイアス>を持ちやすい者たちです。しかしながら、教会は、教会員を感染から守るためにも、正しい認識のもと、感染リスクを出来るだけ抑えるように対処することが必要となります。

新型コロナウイルス対策の専門家会議の見解によりますと、感染リスクを抑えるために、次の「3つの条件の重なり」を避けるように勧められています。

- (1) 換気の悪い密閉空間
- (2) 多くの人が密集
- (3) 近距離での会話や発声

この3つが重なりますと、クラスターが発生する可能性が高くなります。教会における礼拝などは、この3つの条件が揃っている場所となります。そこで、教会がクラスターの発生源とならないために、次の3つの対応が必要です。

- (1) 換気を行う。(可能であれば2つの方向の窓を同時に開ける)
- (2) 人の密度を下げる。(互いの距離を1、2メートル程度あける)
- (3) 近距離での会話や発声などを避ける。(やむを得ない場合はマスクをつける)

このような厚生労働省の指針に沿って、すでに東京聖書学院教会をはじめとして、通常の礼拝を中止し、インターネットを利用してのライブ配信に切り替えている教会もあります。



「きよくならなければ、
だれも主を見ることはできない」
ヘブル 12:14

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail jhc-honbu@jhc.or.jp

そこで、具体的な対応策としましては、

- ・会衆だけでなく、司会者も説教者もマスクを着用する。
- ・賛美は歌わない、あるいはマスク着用のまま小さな声で歌う。
- ・使徒信条、主の祈りは、司会者が代表して朗読する。
- ・礼拝時間を短縮するために、賛美の数を減らしたり、交読文を取りやめたりする。
- ・しばらく聖餐式は延期する。
- ・インターネットを利用できる場合は礼拝をライブ配信し、対応可能な教会員は自宅にて礼拝をささげてもらい、少しでも礼拝の密集度を下げる。

以上のような対応を参考にさせていただいて、それぞれの教会で適切と思われる対策を取っていただけたらと思います。

連日報道されていますので、皆さまもすでにご存知のことと思いますが、「感染していないから大丈夫」というのは、決して正しい認識ではありません。教会に集まる全ての人がPCR検査を受けて陰性と判明したわけではなく、「症状が出ていないから感染していないだろう」という推測に基づいて判断しているに過ぎません。新型コロナウイルスの潜伏期間は1～14日と言われますので、実際には、感染していても今は症状が出ていないだけという場合もあります。問題は、症状が軽い場合でも、時には無症状であっても、感染源となりうることです。

教会が取るべき危機管理としましては、「誰も感染していないだろう」という楽観的な仮定のもとで対処するのではなく、「現時点では症状は出ていないけれども感染している人がいるかもしれない」という前提のもとで、感染拡大をできるだけ抑える対応を取っていただくようお願いいたします。特に、教会は高齢の方々が多く集まりますので、ご注意をお願いいたします。

このようなお知らせは、過剰に反応し過ぎと感じる方もおられるかもしれませんが、教会のそれぞれの地域における社会的責任、そして感染が発生した場合のその後の影響の大きさを考えますと、慎重過ぎるぐらいでちょうどいいものと考えますので、どうぞよろしく願いいたします。

レントのときを過ごしておりますが、御子キリストを十字架につけるほどにこの世を愛された神が、私たちの世界を憐れんでくださり、これ以上の感染の拡大をとどめてくださいますように。また、このために懸命に働いておられる医療従事者の方々、保健所をはじめとする厚生労働省の方々の働きが守られますようお願いいたします。

皆さまの教会の上に、主の守りと祝福がありますようお願いいたします。

主にありて